

## 令和4年北海道地区のサーベイランス状況について

研究分担者：北海道大学神経内科 矢部一郎

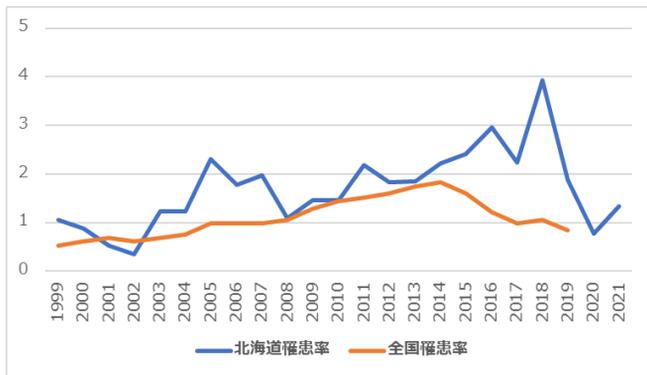
### 令和3年11月～令和4年10月CJDサーベイランス調査(11名)

	孤発性CJD	遺伝性CJD	分類不能CJD	該当せず
例数	8	1	0	2
男：女	5：3	1：0		1：1
平均年齢（歳）	72.75	69		40
備考		V180I: 1例		FTLD 1例 自己免疫性脳炎 1例

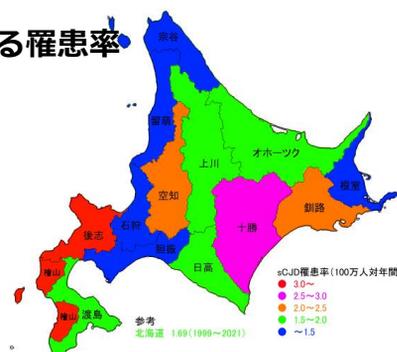
### 北海道地区のsCJDの環境要因の評価

sCJD (1999年1月～2021年10月)	214名
男女比	男性84名/女性130名
平均年齢	71.0 歳
粗罹患率	1.69

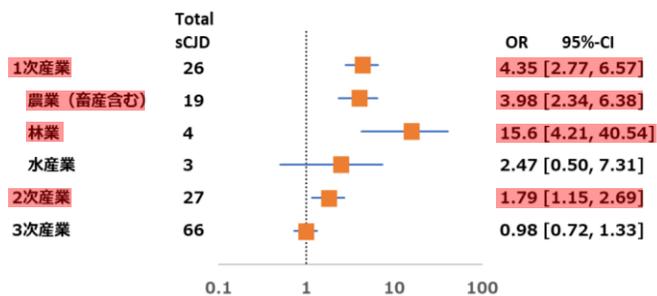
### 結果1. 阻罹患率



### 結果2. 地域による罹患率



### 結果3. 職業による罹患率



## 解 説

- 2022年度は北海道地区でプリオン病が疑われた11名のサーベイランスを実施しsCJD 8名とgCJD 1名、否定2例を報告した。
- 北海道地区のsCJDの環境要因を評価した。
- 都市部でsCJD罹患率が低く、地方で高い傾向を認めた。
- 一次産業, 特に農業や林業従事者でsCJD発症リスクが高かった。
- 地域や産業による差異の原因は不明でありさらなる調査を要する。